

【令和 2 年 10 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和 2 年 10 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和 2 年 10 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【新型コロナウイルス感染症の長期化が懸念されるが、産業全体で業況は好転した】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-40.9（前月-45.9、前年同月-10.1）で、前月比 5.0pt 好転した。産業全体で業況 DI は好転傾向である。特に建設業において業界全体が動き出している状況である。小売業は前月に比べ好転したもののプレミアム商品券の効果が高く、商品券効果終了後の動向に注視していく必要がある。

【製造業】

業況は-34.3（前月-38.3、前年同月-13.7）と前月に比べ 4.0pt 好転した。機械・金属製造業で業況の好転と悪化の二極化が進んでいる。食料品製造業は GoTo キャンペーンの恩恵もあり、持ち直しの動きが見られ、全体として業況が好転した。

【建設業】

業況は-23.5（前月-35.3、前年同月 14.7）と前月に比べ 11.8pt 好転した。現場でのコロナ感染防止に不安を抱えている事業者もいるが、新築・リフォーム物件及び土木工事、電気工事等、建設業全体で仕事が順調に増加傾向となっている。

【小売業】

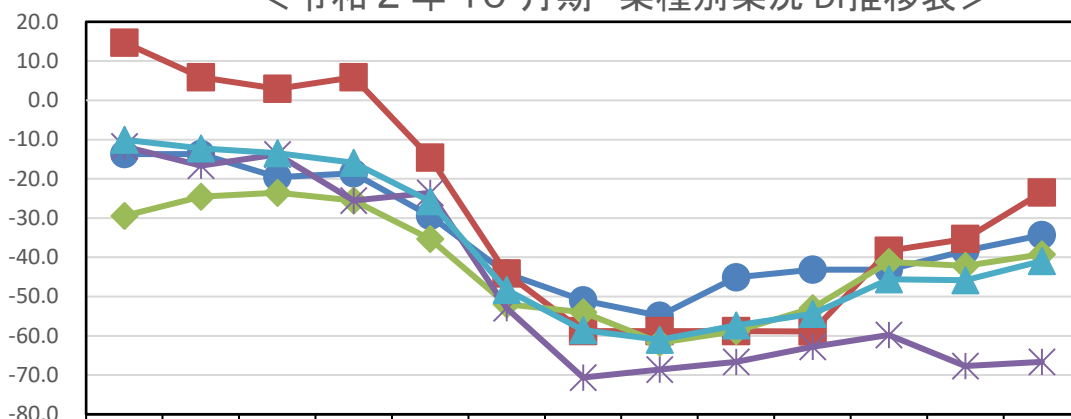
業況は-39.3（前月-42.2、前年同月-29.4）と前月に比べ 2.9pt 好転した。各地域で発行されているプレミアム商品券の効果が始まっており、地区内消費増加により業況を押し上げている。

【サービス業】

業況は-66.7（前月-67.7、前年同月-11.8）と前月に比べ 1.0pt 好転した。旅館業においては GoTo キャンペーンにより、客足が回復傾向である。また、理美容業にもあてはまることだが、コロナ対応の為のアルコール消毒等の消耗品の経費及び作業負担が発生している。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：戸塚〕

＜令和2年10月期 業種別業況 DI推移表＞



	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	R2.4	R2.5	R2.6	R2.7	R2.8	R2.9	R2.10
DI値(製造業)	-13.7	-13.7	-19.6	-18.6	-29.5	-44.1	-51.0	-54.9	-45.1	-43.2	-43.1	-38.3	-34.3
DI値(建設業)	14.7	5.9	2.9	5.9	-14.6	-44.1	-58.8	-58.8	-58.8	-58.9	-38.3	-35.3	-23.5
DI値(小売業)	-29.4	-24.5	-23.5	-25.5	-35.3	-52.0	-54.0	-61.8	-58.8	-52.9	-41.2	-42.2	-39.3
DI値(サービス業)	-11.8	-16.7	-13.8	-25.5	-23.5	-52.9	-70.6	-68.6	-66.7	-62.8	-59.8	-67.7	-66.7
DI値(全業種平均)	-10.1	-12.3	-13.5	-15.9	-25.7	-48.3	-58.6	-61.0	-57.3	-54.4	-45.6	-45.9	-40.9

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・機械・金属製造業は受注が増加している企業とそうでない企業の二極化が進んでいるが、コロナ感染症拡大防止のため自粛していた期間分の受注増加がみられる。(伊豆)
- ・自動車部品製造業では受注が回復し始めている。(富士駿東)
- ・資金繰り相談が大幅に減少しており、好転と悪化の二極化が進んでいる。(中部)
- ・食料品製造業にてGoToキャンペーンの恩恵もあり、持ち直しの動きが見えつつある。(中東遠)
- ・雇用調整助成金を、一部の企業でまだ活用しているが、多くの企業が活用の必要がない程度に仕事量が戻っている。(西遠)

【建設業】

- ・土木工事業は大きな工事(小さな工事をまとめて)の受注が増えている。(伊豆)
- ・新築・リフォーム等徐々ではあるが、需要が増加しているが、現場でのコロナ感染防止に不安を感じる事業者もいる。(富士駿東)
- ・前年度の水準に戻っている事業者もある。(中部)
- ・電気工事(メガソーラー等)、鉄鋼、溶接は受注が増加している。(中東遠)
- ・建設業において夏以降、仕事が順調に増えてきた。施主直受注が多い。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・小売業全般で町のプレミアム商品券発売の影響により町内消費が多くみられている。(伊豆)
- ・プレミアム商品券を販売した結果、効果が出始めている。(富士駿東)
- ・衣料品小売業にてコロナ感染症の影響で売上減少が起こっていたが、GoToトラベルが始まり、旅行需要により少しずつ動き始めている。(中部)
- ・プレミアム付商品券の発行で酒のディスカウント店、家電が売れている。地元特産品の地酒を扱う小売店に商品券使用の新規客が来たことを聞いた。(中東遠)
- ・食料品小売業では外食機会の減少から、店頭での売り上げは増加している店が多い。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・GoToトラベル実施により宿泊施設の利用が増えて、東京都民の予約も開始されたため少し改善してきた。(伊豆)
- ・旅館ではGoToキャンペーンの利用が多く見られ、観光客の客足が回復傾向であり、特に平日の利用率に表れている。(富士駿東)
- ・洗濯業にて個人売上が伸びない。事業所相手だと手間が大幅に係る状況である。(中部)
- ・理美容において、コロナ対応の為の消耗品類の経費が増加している。(中東遠)
- ・旅館業は、GoToトラベルを利用した年末年始の予約が現時点で入ってきている。(西遠)

小規模企業景気動向調査(令和2年10月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.2	-50	好転
売上	-35.2	-44.1	増加
仕入単価	0.1	-5.8	上昇
採算	-50	-50	不変
資金繰り	-44.1	-47.1	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-20.6	悪化
売上	-23.5	-23.5	不変
仕入単価	11.8	5.9	上昇
採算	-20.6	-20.6	不変
資金繰り	-20.6	-17.7	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-41.2	-44.1	好転
売上	-38.2	-44.2	増加
仕入単価	11.7	0	上昇
採算	-29.3	-35.3	好転
資金繰り	-35.3	-44.1	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-23.5	-35.3	好転
売上	-8.8	-17.6	増加
仕入単価	0	3	低下
採算	-20.6	-29.4	好転
資金繰り	-20.5	-32.4	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-50.1	-53	好転
売上	-44.1	-52.9	増加
仕入単価	0	-5.9	上昇
採算	-41.2	-44.1	好転
資金繰り	-50	-50	不変

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-35.2	好転
売上	-20.6	-32.3	増加
仕入単価	0	5.9	低下
採算	-32.3	-41.2	好転
資金繰り	-35.4	-35.3	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-38.3	-38.3	不変
売上	-38.2	-35.3	減少
仕入単価	6	3	上昇
採算	-35.3	-35.3	不変
資金繰り	-38.2	-38.2	不変

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-61.8	-61.8	不変
売上	-52.9	-58.9	増加
仕入単価	2.9	0.1	上昇
採算	-53	-53	不変
資金繰り	-55.9	-58.9	好転

9.洗濯業

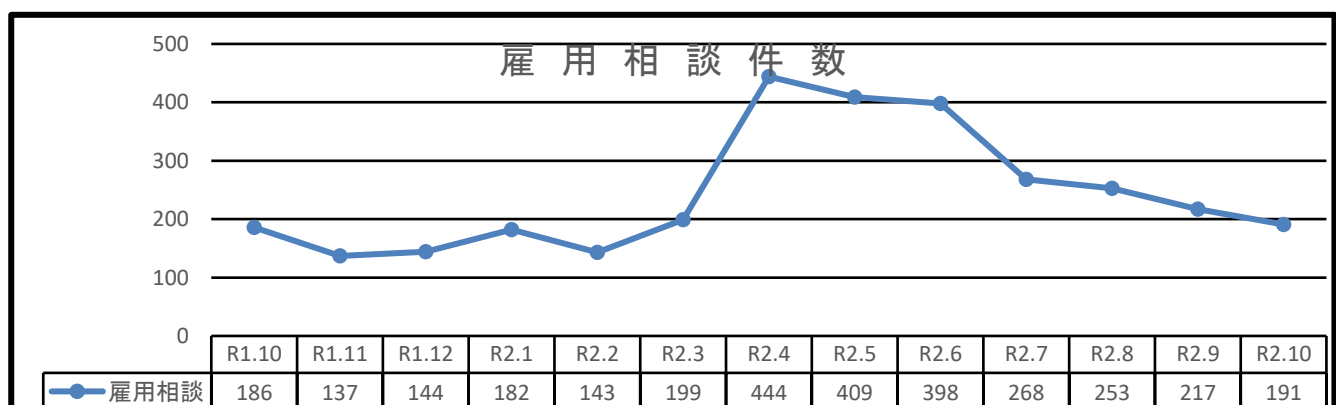
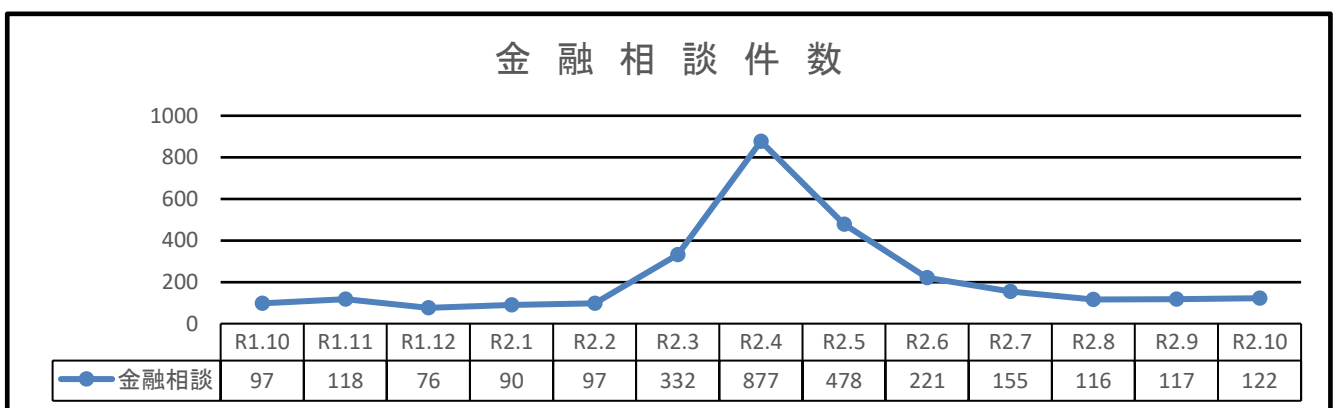
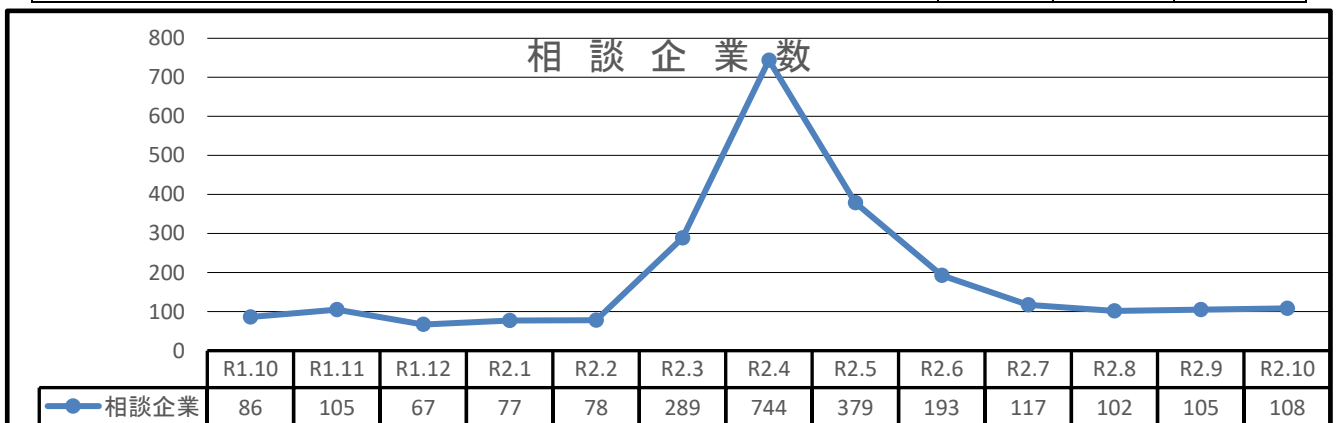
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-70.6	-70.6	不変
売上	-64.7	-64.7	不変
仕入単価	2.9	-2.9	上昇
採算	-47.1	-47	悪化
資金繰り	-50	-55.9	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-67.6	-70.5	好転
売上	-61.7	-67.7	増加
仕入単価	0	-5.9	上昇
採算	-44.1	-53	好転
資金繰り	-44.1	-50	好転

金融・雇用相談実績月次報告(令和2年10月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	108	105	3
【金融相談件数】	122	117	5
新規融資(借換えを除く)	86	65	21
既存債務の借換え	30	47	-17
借入れ条件変更	2	1	1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	4	4	0
【雇用相談件数】	191	217	-26



【金融相談】

金融相談件数は、122件と前月(117件)に比べ5件増加した。金融相談は8月以降、横這いに推移している。コロナ感染症の長期化により依然、相談内容は新型コロナ関連が多い状況であり、相談の内訳は設備資金に関する相談が増加傾向となっている。

＜経営指導員コメント＞

- ・コロナ感染症の影響が長期化していることで、今後の資金繰りを不安視しての相談が増加傾向にある。(伊豆)
- ・緊急性のある運転資金の融資相談は少なく、比較的急ぎの資金相談は設備の導入に関わるものが多い状況である。(富士駿東)
- ・運転資金の相談が多い。無利息型の融資制度を紹介している。(中部)
- ・設備資金に関する申込(工場移転に伴う資金等)が出てきている。(中東遠)
- ・これまで借入の条件変更を行ってきた企業が、コロナウイルス融資を使い、正常化融資に戻る相談がある。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、191件と前月(217件)に比べ26件減少した。相談内容が雇用調整助成金の内容から通常の従業員の入退社の相談へと移行してきている。

＜経営指導員コメント＞

- ・従業員の退職に関する相談が増えている。(伊豆)
- ・雇用調整助成金に関する相談は減少しており、通常の雇用保険取得・喪失相談に適宜対応している。(富士駿東)
- ・通常の入退社に伴う雇用保険手続き相談が主な相談内容となっている。(中部)
- ・雇用保険の取得・喪失相談や労災保険加入証明及びキャリアアップ助成金に関する相談があった。(中東遠)
- ・休業日数は前月に比べて減っているが、休業申請に係る相談は前月並みにある。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・10月17日(土)～10月21日(水)に家賃支援給付金のキャラバン隊が商工会館で支援を行い、多くの事業者が申請を行った。(河津町)
- ・10月12日からの100%プレミアム商品券発売。額面1.5億円分のうち、10月末までに約9割分を販売済みであり、町内消費に一定の効果がみられている。(南伊豆町)
- ・マスコミ報道の影響で、Go To トラベル、Go To Eat についての問い合わせが多く、登録支援が多かった。(沼津市)
- ・11月3日に大井川港でドライブインシアターという車内からダンスや映画を鑑賞するイベントを実施する。(大井川)
- ・毎年10月に行っている祭典が新型コロナで中止になり理美容、衣類販売、食料品小売など幅広い業種で売上に影響がでた。(御前崎市)
- ・海苔の取引について今年はクロダイの食害対策用の網を海苔棚に張ったため、予定では例年より早く取引が始まる予定。(浜名)
- ・例年10月第4日曜日に開催されている、産業まつり「あらいじゃん」が新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催となった。企業PR動画を掲載し、大抽選会をライブ中継で行った。(新居町)